

リーディングカンパニー“indica labs”

～WSI 画像解析のトレンド～

Leading Company “indica labs”

～Trend in WSI Image Analysis～

=抄録=

長年顕微鏡を通して行われてきた病理診断は、デジタル画像を共有しその特性を生かしながら遠隔診断・意見交換などを容易にすることで、病理医不足の現実に時間的・空間的な切迫を補ってきました。そして WSI (Whole Slide Imaging) のようなデジタル画像こそが画像解析ツールを通して、その濃度、色彩、空間といった情報の数値化・定量化を可能とし、デジタル化の長所を最大限享受できるのです。今や形態学的・免疫組織化学的に多重化された解析データを組織切片全体に渡り、数百万におよぶ細胞が持つビックデータとして、1細胞ごとに蓄積/比較/条件検討を可能にし、アナログなままでは到底成しえない新たな知見を見出す研究が盛んにおこなわれています。

今年のランチョン発表では、AI プラットフォームによる画像解析との完全なる融合を果たしてから 6 年が経ち、世界的な競争の中で着実に実績を積み重ねてきた最新の“HALO AI”をはじめとした indica labs の製品群が今後の D P S (デジタルパソロジーシステム) に貢献すべく新たな提案について概要解説いたします。

2024年問題に直面する日本国内においては、革新的な indica labs のテクノロジーが病理にイノベーションを起こすことで、時間と空間の余白(ゆとり)を産み出すと同時に、100年以上の間変わることのなかった病理診断のワークフローがより精度の高いものになると確信しております。